News Release

経済産業省
北海道経済産業局

最近の管内経済概況

（2026年2月の経済指標を中心として）

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、
〇生産活動は、弱い動き。
〇個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
〇観光は、改善が続いている。
〇公共工事は、減少した。
〇住宅建設は、持ち直しの兆しがみられる。
〇民間設備投資は、増加している。
〇雇用動向は、有効求人倍率は7か月連続で前年を下回った。
〇企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※2026年3月発表から雇用の判断はせず、有効求人倍率の前年との比較について記載。

照会先　：　経済産業省　北海道経済産業局
総務企画部　企画調査課
ＴＥＬ：　011-709-2311　内線 2525
Ｅ-mail：　bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

２０２６年４月２０日

管内経済概況判断の推移

（2026年4月現在）

発　表　月	2025年11月	12月	2026年1月	2月	3月	4月	前月との判断比較
総　括　判　断	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
生　産　活　動	弱含み	弱含み	弱含み	弱含み	弱い動き（↘）	弱い動き	→
個　人　消　費	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	→
観　　　光	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	→
公　共　工　事	増加した（↗）	減少した（↘）	減少した	減少した	増加した（↗）	減少した（↘）	↘
住　宅　建　設	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	持ち直しの兆しがみられる（↗）	持ち直しの兆しがみられる	→
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	→
雇　用　動　向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	有効求人倍率は6か月連続で前年を下回った	有効求人倍率は7か月連続で前年を下回った	
企　業　倒　産	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※2026年3月発表から雇用の判断はせず、有効求人倍率の前年との比較について記載。

↗ 上方修正　→ 据え置き　↘ 下方修正

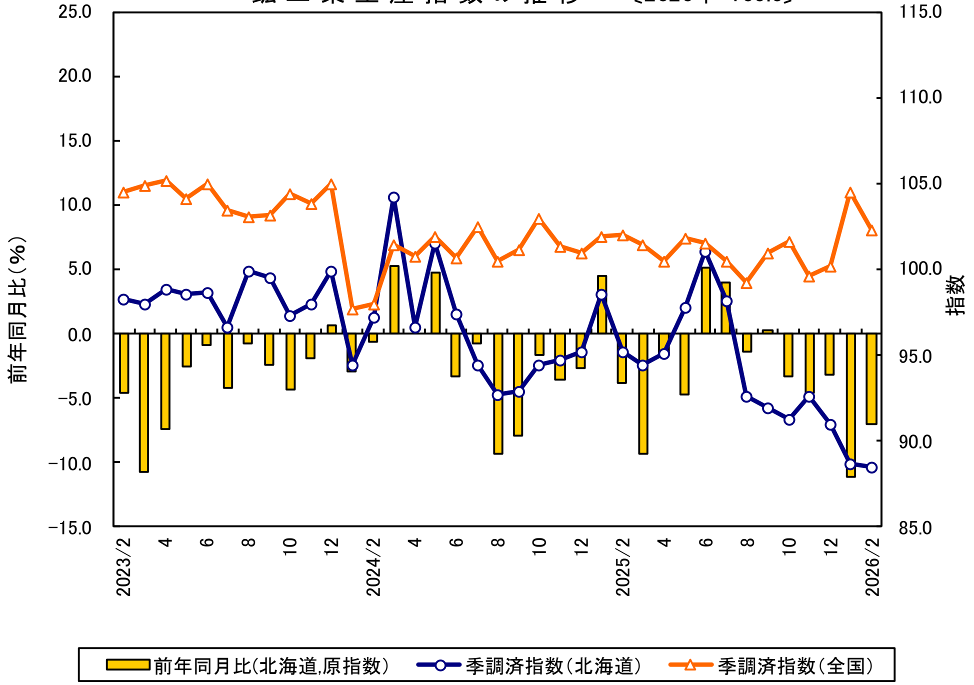
生産活動　～ 弱い動き ～

2月の鉱工業生産は、前月比▲0.2%と3か月連続で低下した。前年同月比は▲7.0%と5か月連続で低下した。
低下業種は、化学・石油石炭製品工業など7業種となった。上昇業種は、一般機械工業など6業種となった。

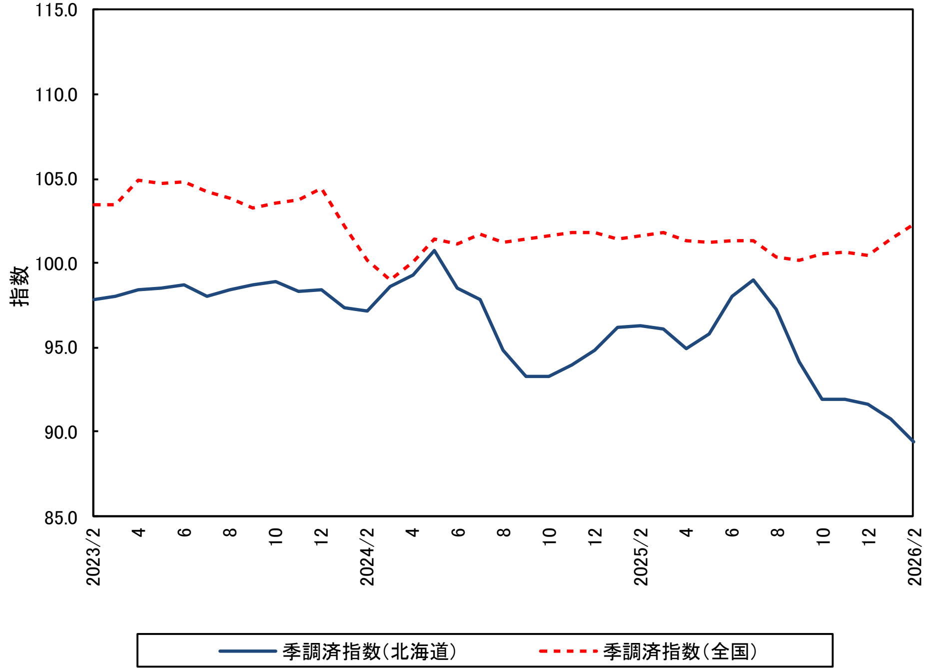
＜2月＞
季節調整済指数
北海道（速報）　88.5（前月比▲ 0.2%）
全　国（速報）　102.3（前月比▲ 2.1%）

	業　　種	前月比(%)	前年同月比(%)	主な品目
低下 7業種	化学・石油石炭製品工業 輸送機械工業 金属製品工業	▲ 26.9 ▲ 7.4 ▲ 4.7	▲ 29.1 0.0 ▲ 14.8	化学・石油石炭製品 自動車部品 建設用金属製品
上昇 6業種	一般機械工業	＋ 82.7	＋ 91.3	一般機械

鉱工業生産指数の推移　〔2020年=100.0〕



鉱工業生産指数の推移（3か月後方移動平均）〔2020年=100.0〕

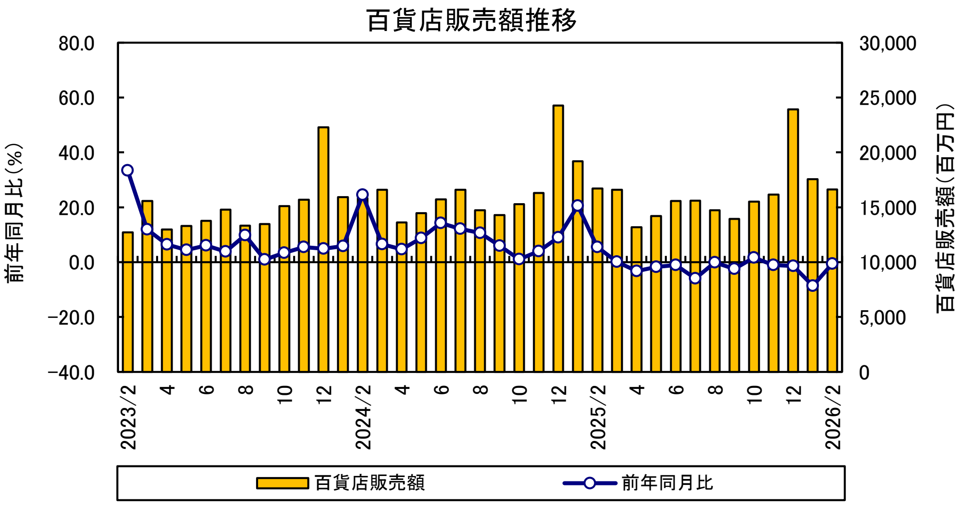


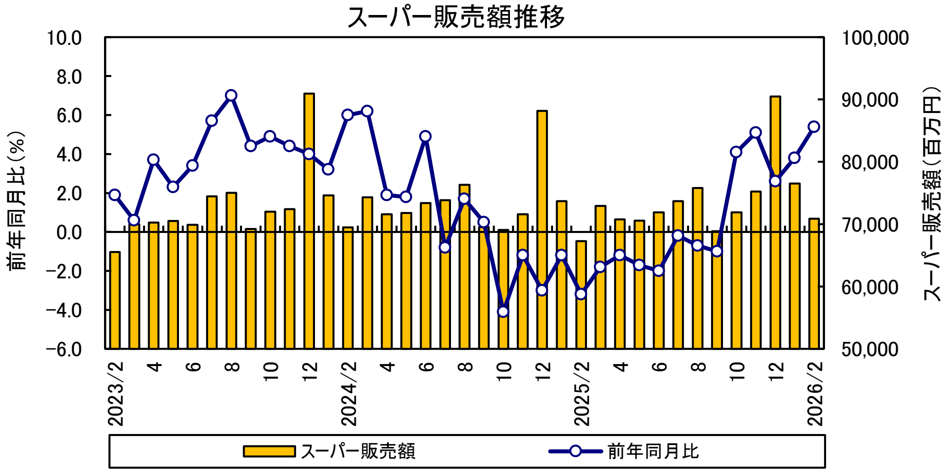
（資料：経済産業省、北海道経済産業局）

個人消費　～ 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している ～

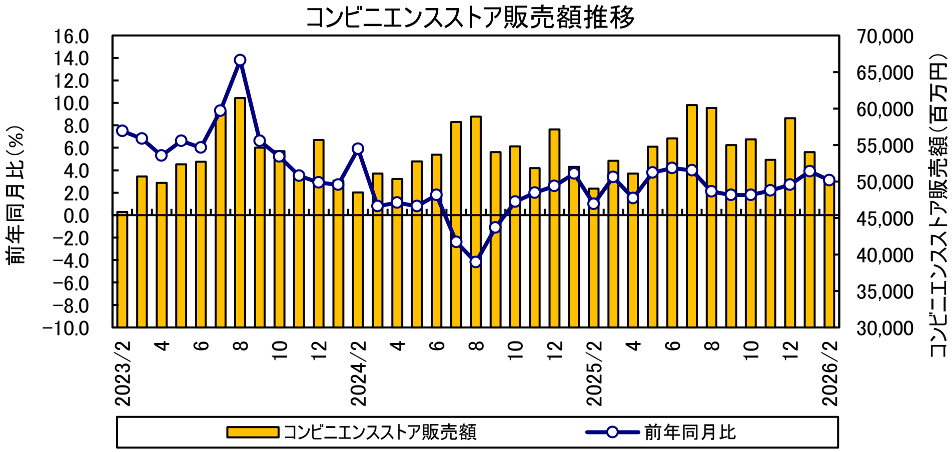
2月の個人消費は、百貨店、新車販売が前年を下回り、他の5業態は前年を上回った。

- 百貨店は、大雪の影響により春物衣料の動きが鈍く、前年同月比▲0. 6%と4か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、買上点数に回復傾向がみられ、同＋5. 4%と5か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同＋3. 1%と17か月連続で前年を上回った。





（資料：経済産業省、北海道経済産業局）

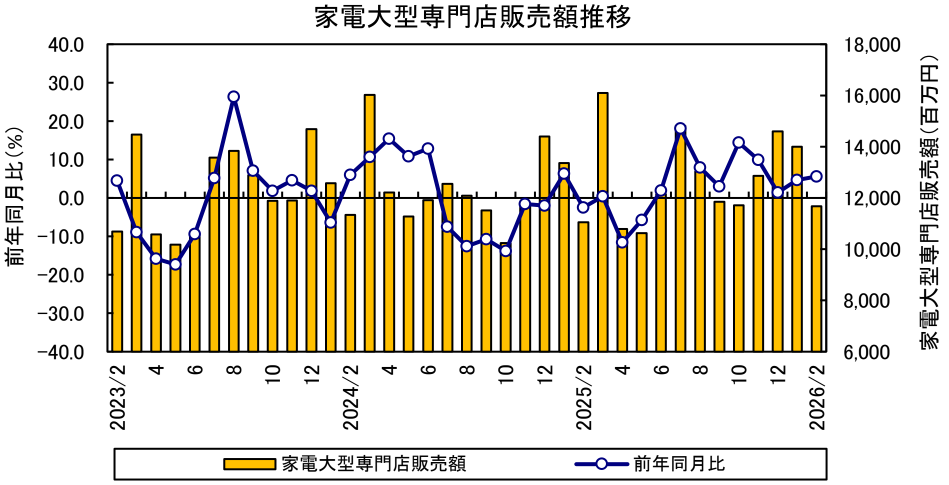


（資料：経済産業省）

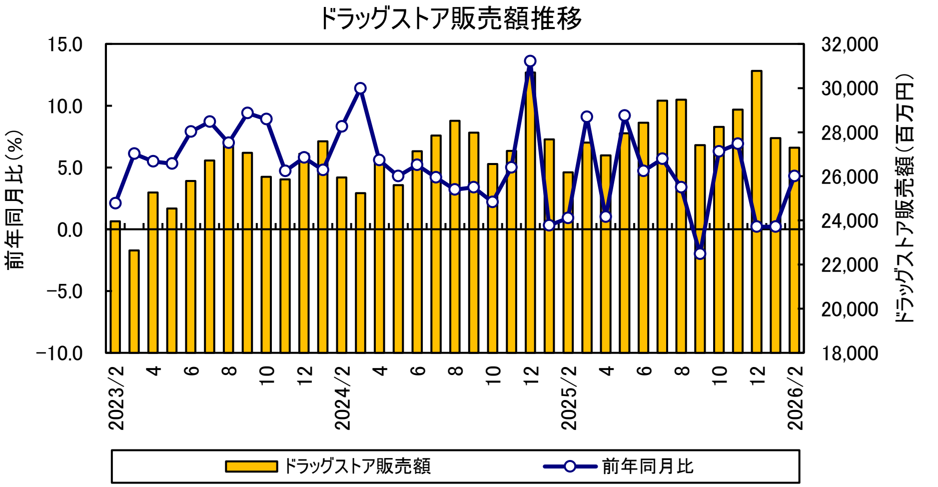
【ヒアリング内容】

- 札幌の積雪量が前年よりも多かったほか、中旬の大雪により国内富裕層の来店が減少して春物衣料の動きが鈍かった。また、売上げが伸長した前年の反動や、中国の訪日自粛の影響によりインバウンド客による高級ブランドの商品の売上げが減少した。（百貨店）
- 上旬の旭川の大雪や中旬の札幌の大雪により売上げは一時的に減少したものの、買上点数に回復傾向がみられ、全体の売上げは前年を上回った。また、バレンタインに向けて自分へのご褒美としての需要があることを見込んで高価格帯のチョコレートを販売したところ好調だった。（スーパー）
- 値上げにより客単価が上昇したほか、札幌の積雪量が前年よりも多かったことから自宅近くの店舗を利用する人が多く全体の売上げが前年を上回った。（コンビニエンスストア）

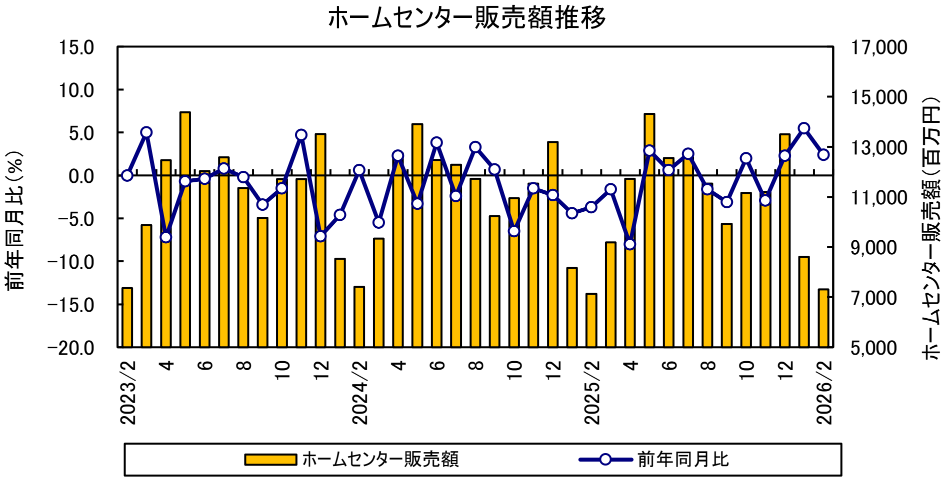
・家電大型専門店は、同＋5．6％と9か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同＋4．3％と5か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同＋2．4％と3か月連続で前年を上回った。
・新車販売は、同▲11．9％と2か月連続で前年を下回った。



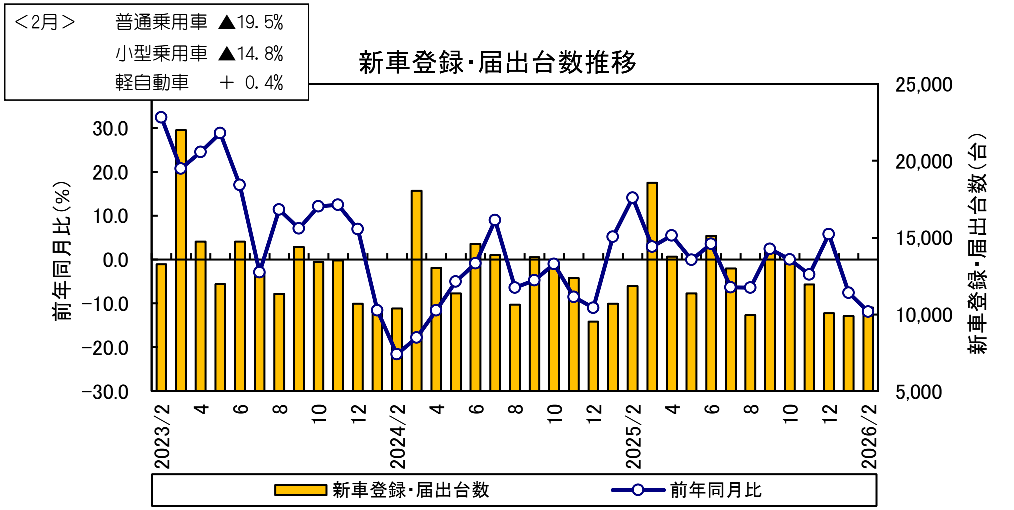
（資料：経済産業省）



（資料：経済産業省）



（資料：経済産業省）

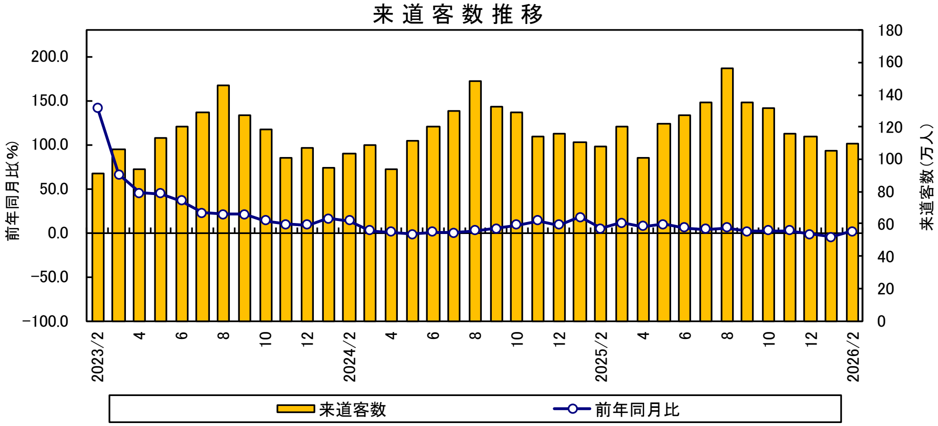


（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）

【ヒアリング内容】
・2027年度の家庭用エアコンの省エネ基準の厳格化を見越した買い替え需要がありエアコンの売上げが前年を上回った。また、オリンピックなどの国際大会の影響によりテレビの売上げが前年を上回った。（家電大型専門店）
・前年よりも気温が高く外出する人が多かったからか、リップなどメイクアップ商品が好調だった。（ドラッグストア）
・前年よりも降雪量が少なく気温が高かったことから、園芸用品や塗料など屋外で使用する商品が好調で、売上げと客数が前年を上回った。（ホームセンター）

観光　～ 改善が続いている ～

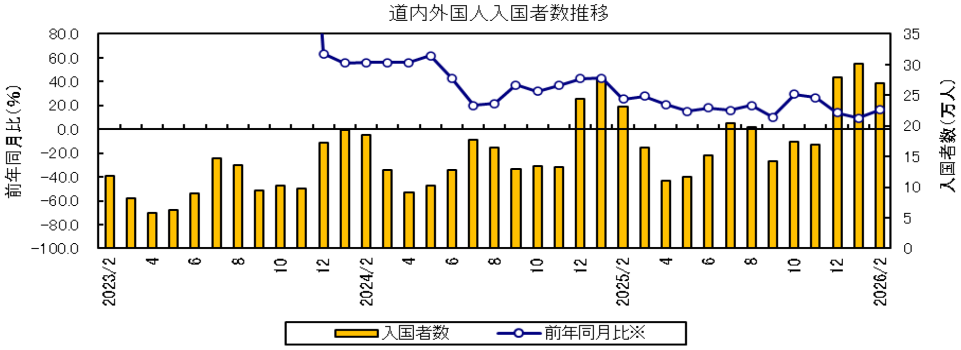
2月の来道客数は、前年同月比＋1．1％と3か月ぶりに前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同＋16．4％と44か月連続で前年を上回った。



＜2月＞　来道客数　1，093，989人（＋1．1%）
※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

（資料：（公社）北海道観光機構）

＜2月＞　入国者数　268，778人（＋16．4%）

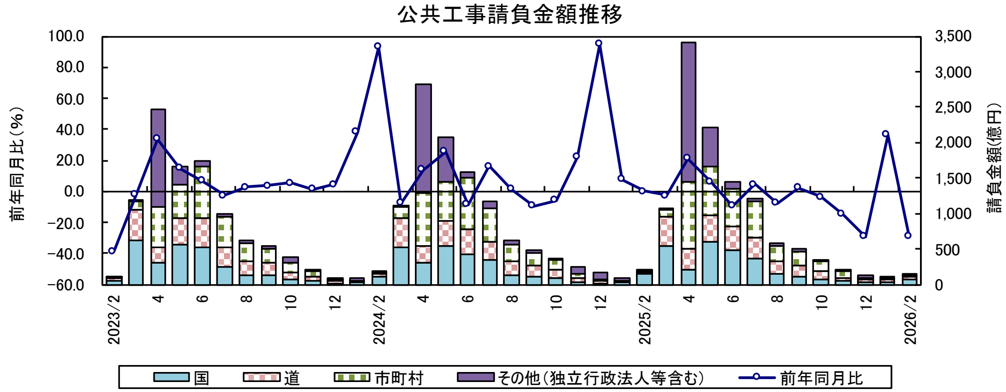


（資料：法務省）　※2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

・2月の宿泊客数は前年同月とほぼ同程度と好調だった。イベントのため、ホテルはほぼ満室となっている。（観光協会）

公共工事　～ 減少した ～

2月の公共工事請負金額は、道、その他は前年を上回ったが、国、市町村は前年を下回り、前年同月比▲28．7％と2か月ぶりに前年を下回った。



＜2月＞
北海道　▲28．7％
〔内　訳〕
国　▲49．0%　道　＋43．8%　市町村　▲9．4%　その他　＋82．4%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

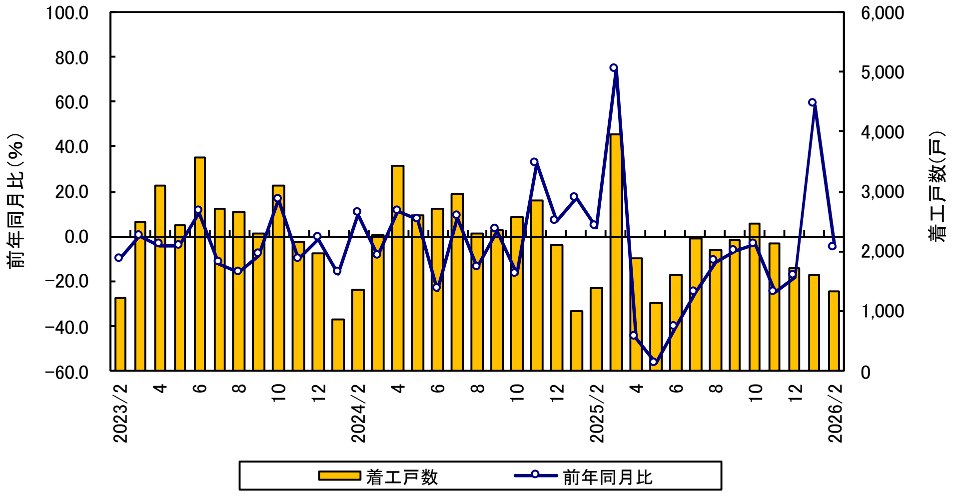
（資料：北海道建設業信用保証（株）ほか2社）

住宅建設　～ 持ち直しの兆しがみられる ～

2月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲は前年を上回ったが、貸家は前年を下回り、前年同月比▲5. 2%と2か月ぶりに前年を下回った。

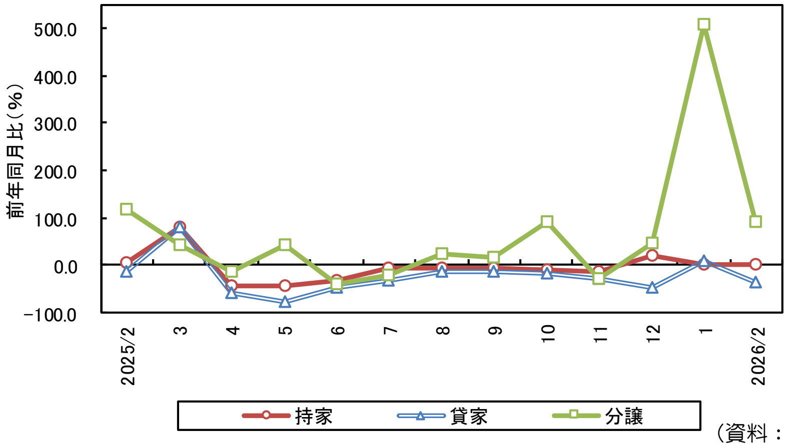
新設住宅着工戸数推移

＜2月＞
北海道　▲5. 2%



持家・貸家・分譲の前年同月比の推移

＜2月＞　持家　＋ 1. 1%
貸家　▲37. 6%
分譲　＋ 93. 0%



（資料：国土交通省）

民間設備投資　～ 増加している ～

2025年度の設備投資計画は、全体で前年度比＋14. 0%と4年連続で前年度を上回った。
なお、2026年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2026年4月1日発表

	2025年度	2026年度
北海道	＋ 14. 0%	▲ 11. 2%
製　造　業	＋ 21. 0%	▲ 1. 9%
非 製 造 業	＋ 10. 6%	▲ 16. 1%
全　国	＋ 7. 9%	＋ 1. 3%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。
※北海道は、電気・ガスを除くベース。

（資料：日本銀行札幌支店）

法人企業景気予測調査（北海道・設備投資）

2026年3月12日発表

	2025年度	2026年度
全産業	＋ 28. 0%	▲ 5. 2%
製　造　業	＋ 18. 9%	▲ 5. 9%
非 製 造 業	＋ 31. 6%	▲ 5. 0%

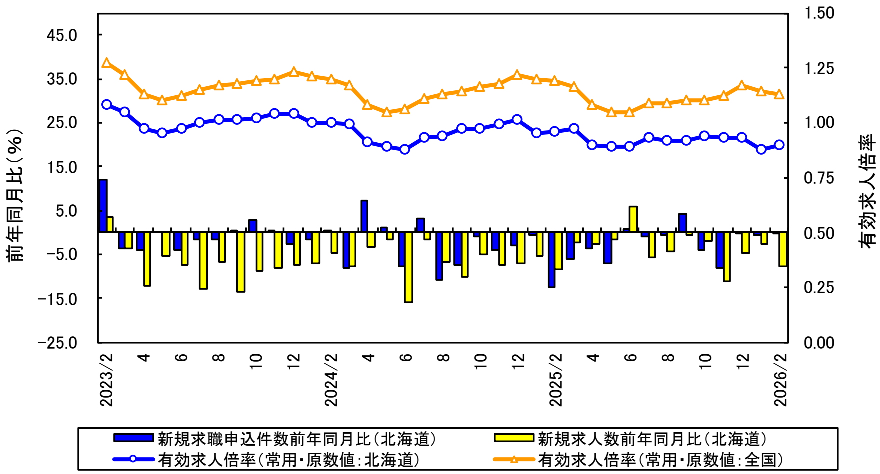
※数値は対前年比増減率。
※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

（資料：北海道財務局）

雇用動向　～ 有効求人倍率は7か月連続で前年を下回った ～

2月の有効求人倍率は、0. 90倍と前年同月差0. 06ポイント低下し、7か月連続で前年を下回った。

有効求人倍率･新規求職･新規求人件数の推移



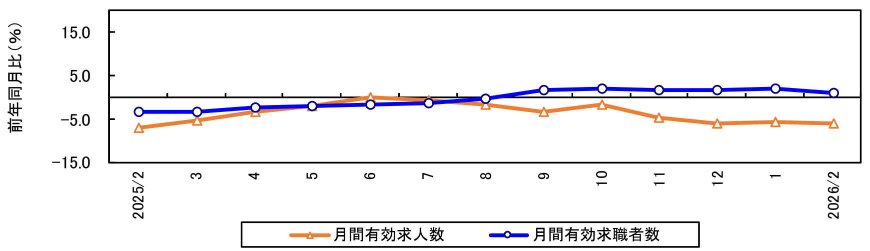
＜2月＞

北海道	有効求人倍率（常用・原数値）	0. 90倍
	新規求人数(前年同月比)	▲ 7. 6%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 0. 3%
全　国	有効求人倍率（常用・原数値）	1. 13倍

＜2月＞

月間有効求人数　（前年同月比）	▲ 5. 9%
月間有効求職者数(前年同月比)	＋ 0. 9%

月間有効求人数･月間有効求職者数の推移

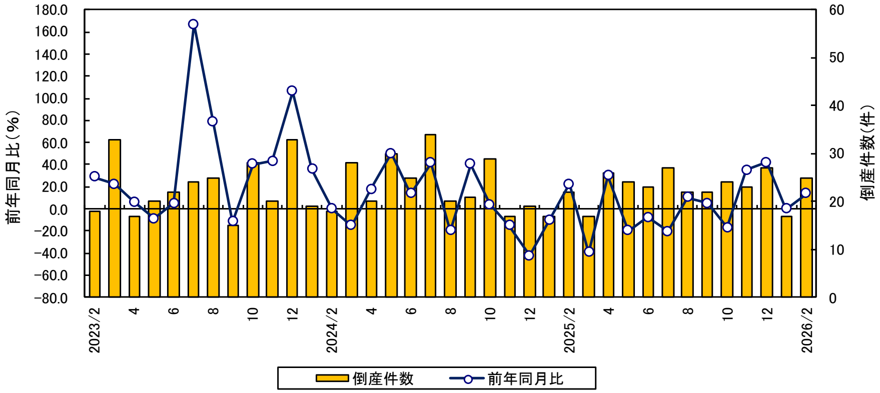


（資料：厚生労働省、北海道労働局）

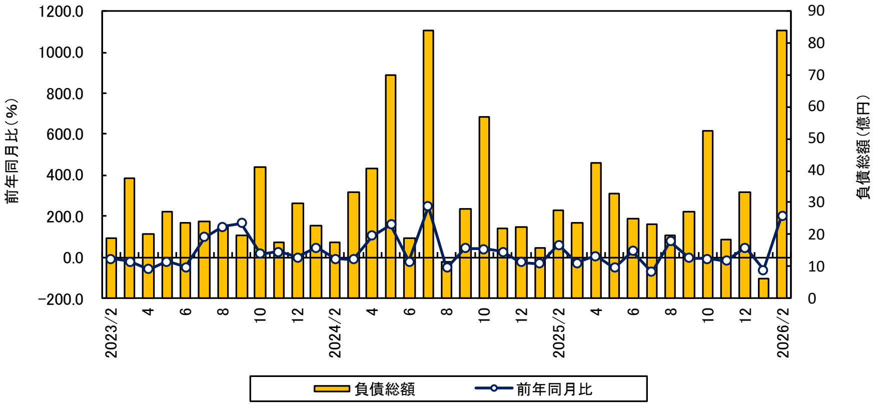
企業倒産　～ 件数、負債総額とも増加した ～

2月の倒産件数は25件で、前年同月比＋13. 6%（3件増）と2か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は83. 9億円で、同＋203. 0%と2か月ぶりに前年を上回った。

道 内 企 業 倒 産 件 数 推 移



道 内 企 業 倒 産 負 債 総 額 推 移



（資料：(株)東京商工リサーチ）